

—舞の海秀平の原点はブルース・リー！？— 人生と映画について語るオリジナル人気番組 「この映画が観たい」ムービープラスで9月放送

CS映画専門チャンネル「ムービープラス」(ジュピターエンタテインメント(株)、東京都千代田区、代表取締役社長:寺嶋博礼)で放送中のオリジナル番組「この映画が観たい」は、様々な分野で活躍する著名人の方々にかげがえのない“映画体験”と、それにまつわる人生のエピソードをお聞きする番組です。9月は、大相撲解説者の舞の海秀平さんが登場。彼がセレクトした映画「燃えよドラゴン(1973年)」「あしたのジョー 劇場版(1980年)」「シコふんじゃった。(1991年)」「007は二度死ぬ(1967年)」「SAYURI(2005年)」の5作品について、番組で熱く語っていただきました。



<舞の海秀平さん収録インタビュー>

小学生の頃に観た「燃えよドラゴン」は、映画の内容よりもブルース・リーの肉体美とムンチャクが強烈に印象に残っています。とにかくムンチャクが欲しくて、親に内緒で家にあった新品のホウキをのこぎりで切って自作したのを覚えています。ブルース・リーは悲壮感が漂っているところに惹かれます。静かに燃えていて、勝負に勝っても喜ばない。武士道精神というか、相撲の世界にも通じる部分がありますよね。今、話していて気付いたんですが、ブルース・リーは私の原点かもしれません。彼が大きな体だったら、好きになっていなかった。あの小さな体で、大きな体の悪人を倒していく姿に憧れました。

「あしたのジョー」もブルース・リーと同じで、戦うために孤独に命がけのボクシングに賭けている主人公の姿に惹かれました。子供の頃、母親に「ジョーみたいに土俵の上で死にたい」と言ったら「馬鹿なことを言ってるんじゃない」と怒られましたけど(笑)。実際はジョーのようにはなれないんですが、「打ち所が悪かったら死ぬかもしれない」という気持ちで土俵に上がるときは「自分も少しはジョーに近づけたかな」と少し嬉しくなることもありました。時代が変わり、医学や科学の発達でアスリートが強くなっていったとしても、最後の最後に底力を発揮するためには、この映画のジョーのようなハングリー精神が必要だと思います。

現役時代に観た「シコふんじゃった。」は、自分の大学時代と比べてあまりの違いに羨ましくなりました。この映画のように、ゆるい雰囲気でも楽しく相撲ができればいいなと思っていたのに、気付いたら日大という相撲の強豪大学に入ってしまった。思い描いていたキャンパスライフは送ることができず、大学生活4年間の中で女子学生と一度も話す機会がなかったほどです(笑)。この映画の本木雅弘さんは、シコの踏み方がとても上手だったので、役者さんってすごいなあと感じました。

私の師匠、佐田の山が出演していることを知らずに観た「007は二度死ぬ」は、師匠の新たな一面を見ることができました。英語のセリフも様になっていたし、練習したんだろうな〜って思って(笑)。私も「SAYURI」でハリウッド映画に出演したので、師匠と弟子がふたり揃ってハリウッド映画に出演をした力士は、私たちが最初で最後じゃないでしょうか。色んな日本芸能がある中で、相撲を映画で紹介してもらえるのは本当に嬉しいです。いま、また相撲ブームが来ているので、相撲を題材にした映画をもっと作って欲しいなと思います。

そのほか、相撲に全身全霊を賭けて過ごした青春時代や、大相撲解説者として心得ていることについてなど、貴重なエピソードが飛び出した番組「この映画が観たい#48 ~舞の海秀平のオールタイム・ベスト~」。ぜひムービープラスをご覧ください。

「この映画が観たい#48 ~舞の海秀平のオールタイム・ベスト~」

初回放送: 9月4日(月)23:00~23:30

再放送: 9月11日(月)18:00~18:30、13日(水)11:15~11:45、14日(木)18:00~18:30、19日(火)18:30~19:00、22日(金)18:15~18:45、26日(火)10:30~11:00

舞の海秀平 プロフィール

1968年2月17日、青森県生まれ。中学・高校・大学時代は相撲部に所属し、大学卒業後に周囲の反対を押し切って大相撲入りを決意。90年に「長尾」の四股名で初土俵。その後、四股名を「舞の海」に改名し、多彩な技で大柄な力士を倒す姿から「平成の牛若丸」「技のデパート」という異名がつけられる。94年、小結に昇進。通算5度の技能賞を獲得する。99年、惜しまれつつも現役を引退。現在は、大相撲解説のほか、旅番組のレポーターや俳優活動なども行いテレビを中心に活躍中。

10月は、漫画家の西原理恵子さんが登場します。ご期待ください。「この映画が観たい」公式ページ <http://www.movieplus.jp/guide/mybest/>

ムービープラスとは 今年開局28年目を迎えた日本最大級の映画チャンネルです。ハリウッドのヒット作をはじめとする国内外の選りすぐりの映画、映画祭、最新映画情報を放送し、J:COMなど全国のケーブルテレビやスカパー！、IP放送を通じ、約715万世帯のお客様にご覧いただいています。

■ 一般の方のお問い合わせ先 ■
ムービープラス カスタマーセンター
TEL: 0120-945-844
(受付時間10~18時/年中無休)

■ 報道関係の方のお問い合わせ先 ■
ジュピターエンタテインメント(株) ムービープラス PR担当
TEL: 03-6365-8410 (代表)